

## 「SG 保守における ALARA 改善」

Mr.Sang cheol Kim (KHNP, 韓国)

蒸気発生器保守時の ALARA 評価結果に関する報告。

2006 年に Ulchin5 号機の蒸気発生器の保守を行った。本作業は被ばく線量が非常に高く、汚染の散乱も著しいため、これらを低減するための取り組みを実施した。

蒸気発生器の冷却方法の改善、ホットスポットの鉛ブランケットによる保護などの措置により、作業時間の短縮、線量の低減を達成した。

2005 年の同作業と比較して、作業期間は 18 日から 14 日に短縮、集団線量は 72.07 人 mSv から 49.71 人 mSv に低減することに成功した。又、ALARA に基づく行動指針を徹底することで（作業領域内のみでの安全靴使用の徹底及び定期的な汚染の確認と交換、作業領域内の保護壁の設置等）汚染の拡散防止も図ることができた。

